

## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2021. 11  
No.339

### イナテックグループ設立の歴史

#### 株式会社イナテック鳥取

#### (2015年設立)

今から6年前、AW様(現アイシン様)がオートマチックトランスミッション総生産台数1000万台/年〜1200万台/年の準備構想を練られていました。生産実績で800万台/年の時代です。イナテックもこの大幅な増産構想に追従できるよう、必死にレンタル工場を探したり、ライン再編をすること、何としても1000万台/年体制を構築しようと活動していました。なぜならば、イナテックが生産数量対応が出来なければ、その部品を他社に転注されることになるからです。対応できない量のみならずまだ良いのですが、ビジネスですからそんな甘いものではありません。イナテック

で従来からやっていた製品を他社が対応するとなれば、かなりの量を発注することで他社は生産準備を行います。一旦イナテック

の部品が他社に流れることになれば堰<sup>せき</sup>を切ったようにシエラを奪われるのは目に見えていました。AW様にとつても見知らぬ仕入先に発注するよりも、創業より苦楽を共にしてきた協力会メーカーに発注したいと考えるのは百も承知です。そのような環境の中で大規模生産リソースが必要と考え、実行に向け検討を始めました。

たまたま私の知り合いが鳥根県の益田市に進出した事もあり、色々と山陰地方の進出支援状況を伺いましたので、検討することになりました。

まずは、山陰の鳥取を皮切りに出発し鳥根県の益田市まで十数か所の工業団地を視察しました。その都度、県知事や各市町村の首長の方の配慮に感謝するとともに、大変勉強になりました。

そこで学んだことの一つは、鳥取・島根には日本で錚々たる企業の工場が非常に沢山あることでした。本社所在地は東京・名古屋・大阪・京都ですが、立地条件の良さ

と地域柄、優秀で真面目な人財の宝庫であることが、鳥取・島根に工場進出を決断されたようです。

最終的に、鳥取市河原町を選んだのは鳥取県庁職員の素晴らしい営業力と平井知事を始めとするすごいスピード決断でした。その決断とは「一週間で河原町のグラウンドをイナテックに提供出来るようにする」という提案でした。さすがに私も度肝を抜かれ、「3日間時間を下さい」と返事をいたしました。その3日間の中でイナテックの営業部隊を総動員して、「仮称「河原工場用地」の条件を整理して頂きました。

一 本社から車で4時間半で移動可能  
二 東海地震があっても鳥取とは同時被災はない

三 大雨になっても5本の輸送ルートが確保できる

四 優秀な人財が豊富

これらの条件が明確になった時点で即、平井知事に進出を決断した旨をお伝えし、進出が決定となりました。

他の候補地としては、土地代金無し電気使用料金10年間無料、補助金30%等々、好条件は揃っていましたが前述の四

つの条件に当てはまっていたのは鳥取市だけだったのです。ちなみに協力会の他メーカーは、工場増設や新拠点へ進出をされ、リーマンショックで苦勞した会社や、米中摩擦の影響を受ける時期に進出を決断された会社は惨憺たる結果に終わっている会社も多いと聞いています。

つまりイナテック鳥取の進出はラストチャンスで絶妙なタイミングだったということです。

これらも、イナテックグループ社員の皆さんによる日頃の頑張りが幸運を呼び込んだと言えると思っております。これからE・V・H・V・FCVの時代はすぐそこにやってきます。本社・米津・西尾東・イナテック平湖・イナテック鳥取という資産を十分活用転換すれば80周年100周年は無事迎えられると計算しております。

## 株式会社イナテックホールディングス

(2016年設立)

イナテックホールディングスの設立の目的は「イナテックの事業継続」です。一般的に

中小企業の株式は株券発行もせず、一般(市場)に売却することも出来ません。イナテックでも同様です。社員の皆さんが一所懸命頑張って営業利益を出せば出すほどイナテックの株代金額は値上がっていきませんが、その株式は売却できません(日本のルール)。

その株式をイナガキファミリーは継承していかねばならないのです。社員の皆さんが頑張れば頑張る程、イナガキファミリーは個人で相続の為に何億円、何十億円の借金をしてそれを個人で返済していく。このパターンを邦松会長から私が引継ぎ、借金しながら自分の給与から支払い続けて今があるわけです。私までは良いのですが、次世代の子供、孫に個人で何億円という借金をして株式が承継できるとはとても思えませんでした。

イナガキファミリーの株式が承継できなくなるということは、イナテックが存続出来ないことを意味します。イナテックの目的(基本的な考え方は、イナテックの企業

## 茶根譚後集

七〇

寵辱不驚、閑看庭前花開花落。去留無意、漫隨天外雲卷雲舒。

名誉を得ても恥辱を受けても、ともに心を驚かすことをしない。あたかも、心静かに庭さきの花が開いたり散ったりするのを眺めているように。また、地位を去ることもとどまることも、ともに意にかけることをしない。あたかも、なんとなく大空の雲が巻いたり延びたりするように。(運命の自然に随順する)。

理念で申し上げている『イナテック社員の質的生活の向上・家族の幸福』です。イナガキファミリーの株式が円滑に承継出来て始めて「イナテック社員の幸福」が得られるものです。

イナテックホールディングスを設立することによって株式を交換し『資本と資産管理会社』を設立することによって株価を世間の常識の範囲内で運営出来るようになりました。

もちろんイナガキファミリーのガバナンスはしっかりと学び続けファミリールールを作成し、トラブルのない管理をしまいにます。将来的には「社外取締役制度」を導入し、いっどこから監査して頂いても良いイナガキファミリーを構築していきます。

これからも、イナテックグループ社員の皆さんが頑張れば頑張る程、良い会社になる仕組みを創っていきます。そして「イナテックグループ社員の皆さんの家族の方々の幸福」の実現に向かって一生修養いたします。